



あなたと議会を結ぶ



No.130

知名町 議会だより



一球入魂!

元気・ふれあい
ねんりんスポーツ大会

主な内容

- 平成24年度各会計決算状況
- 一般質問
- 検証・あの一般質問どうなった？
- 議案・請願・陳情審議結果
- 編集後記

一 般 質 問

平成25年9月議会定例会

TPPを見据えた農業振興策は。
町長：農業生産構造の強化を図る。



今井吉男 議員

地区、田皆岩之竿地区、第一と第二西原地区は、平成二十七年度新規採択に向けて進めていく。

田皆メーバル地区の土地基盤整備事業ができないか。

町長 平成二十六年
度末までに推進委員会の立ち上げと事業説明会、意向確認調査を実施する。

低迷する商工業の振興策は。

町長 商店街の活性化のため町と商工会がタイアップし各種事業を導入、本年度は3本の事業を導入する。

定住人口の増加対策は。

町長 移住体験ツアーや体験プログラム等の定住促進等の施策を実施している。

少子・高齢化に対応する福祉対策は。

土地基盤整備完了地区の早期畑かん事業導入は。

町長 第一と第二矢護仁屋

町長 今後も、子育てを地域、職場、世代間の協力を仰ぎながら、子供を産み育てる施策を講じていく。

町の財政基盤強化策は。

町長 今後も、必要な事業なのか精査し、財政健全化を図りながら町政運営をしていく。

沖永良部に障害者支援施設の建設はできないか。

町長 現在二十一名の方が島外での入所を余儀なくされている。関係機関と連携を図りながら取り込む。

琉球・奄美諸島の世界自



然遺産登録に伴う観光客誘致に向けた取り組みは。

町長 二〇一〇年の冬から始まった「あまみシマ博覧会」を通して島外からの観光客誘致に取り組んでいる。今後も、沖永良部観光連盟や関係機関と連携して推進していく。

田皆岬の国立公園移行に伴う事業で、田皆岬周辺の道路改良とカーブ補正等はないか。

町長 国直轄の整備は、第一種特別地域以上の地域区分でないといけない。田皆岬周辺は町道なので、主管課と協議する必要がある。

町長：機が熟したら、うるま市と協議する。



西田 治利 議員



七月に沖縄県うるま市、天願自治区のみなさんと「獅子を語る」を開催し、あわせて川祭りを開催した。町の活性化のためにも友好親善協定を結んで、

町長：他の集落との兼ね合いもありしばらくは個々の交流を深めてもらい機が熟したらうるま市との協議の場を設けたい。

高齢者を地域で支え合う仕組みづくりは、

町長：昨年度から、社会福祉協議会に「暮らし安心・地域支え合い推進事業」を委託し、地域全体で支え合う仕組みづくりを目指して

いる。

地域の課題にどのように対処するのか。

町長：課題発見のために支え合いマップを作り見守り支援や生活支援を必要とする人をもれなく把握して住民のボランティア活動により支える仕組みを構築する。

後期高齢者が増大する中、認知症や障害者など要介護に伴う発症による、老老介護の問題など、対処の連携は取れているのか。

町長：3年を1期として大きく後期高齢者保健福祉計

画と介護保険事業計画を策定して、施策を運営・実施している。来年度は第6期計画を策定。必要量の整備と、地域包括支援センターを窓口とし、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供できる地域包括ケアシステムの構築を実現していく。

膨れ上がる国保と介護療養の給付費の財源の確保が懸念されるが、町民の負担増につながらないのか。

町長：収納対策の強化と医療費適正化を重点に財源の確保に努める。本町におい



集落毎に消火栓が老朽化、使用不可能なものがある。支障をきたさぬよう早期に対処すべきではないか。

町長：消火栓は126基設置されており、6基が使用不能になっている。今年度から5基の整備を行う。今後も消防幹部会において消火栓の更新、新設について各分団長の意見を参考にしながら整理していく。

議会傍聴 しませんか

傍聴は町議会活動にふれる、もっとも身近な方法です。本会議や委員会には町長をはじめ、副町長、教育長が出席していますので、どのような方針や考え方で町政が進められていくかを知ることが出来ます。

傍聴を希望される方は、当日知名町役場本庁舎議事堂の傍聴席入り口へお越し下さい。事前の申し込みは必要ありません。受付簿に住所、氏名を記入された後、傍聴席にご着席ください。また、町立図書館に定例会の議事録が配架されていますので合わせてご利用ください。

自殺予防の取り組みについて。

町長：沖永良部地区自殺対策連絡会とも連携し命や絆を大切にす啓発活動に取り組む。



山崎賢治 議員

自殺予防の取り組みについて。

町長：自殺予防の推進を図るため、平成22年に徳之島保健所を事務局として沖永良部地区自殺対策連絡会が発足し、自殺問題の現状、特性を共有し、その課題を検討し、地域における自殺対策の推進を図っている。毎年9月10日から16日まで全国自殺予防週間となっており、本町では毎年「心の健康づくり」パンフレットを購入し全世帯に自殺予防啓発のため配布している。また、保健センター内に専用の「こころの相談」電話

済の中で、足腰の強い産地として確立するために複数年の視野の中で、粘り強く生産コストの低減や反取向をを図り、また安心安全な生産の取り組みによって消費者の信頼獲得や購買意欲を得ることが何よりも重要

であると考えている。また、野菜価格安定基金への負担を継続し価格低落時の経営安定をバックアップし、今後とも本町の重要品目であるパレイシヨの振興に努めていく。

今後とも、沖永良部地区自殺対策連絡会とも連携し、命や絆を大切にす啓発活動等を通して、自殺予防に取り組んでいく。

さてつきびの振興策について。

町長：今期は長期の干ばつの影響を受けており、生育調査の結果「仮茎長、茎数ともに平年値を下回る予想。具体的取り組みについては同僚議員の質問に答弁済み。

パレイシヨの振興策について。

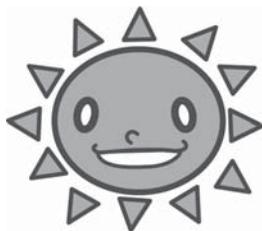
町長：常に変動する市場経



太陽光発電施設（住吉）

公共施設の老朽化対策について。

町長：住吉小前の太陽光発電システムは、灌漑用水ポンプの電源としての実証研究を目的に施設運用が行われた。その後、隣接地に町が整備した溜め池の地下水汲み上げ用ポンプの電源設備として活用されており、平成8年に結成された「住吉地区水利用組合」へ施設管理を委託することにより、施設の維持管理及び畑かん用水の共同利用を図ってきたが、近年施設の老朽化や組合員の減少により運営面や管理作業等にも支障をきたしており、今後は組合員や地域の皆様と協議連携し施設の適正管理に努める。



町民体育館の駐車場の排水対策は。町長：駐車場の舗装補修を行った。



町民体育館の駐車場の排水溝は、未だに手つかずのまま土に埋もれて放置、町民の声を無視しているのか、今後の対応を伺う。

町長 町民体育館の環境整備につきましては、年次計画で進めており、質問のありました駐車場側溝等の整備を計画しております。先日、職員と業者にて重機等をお願いして側溝の土砂をさらい、アダンの伐採、駐車場の舗装補修を行いました。今後とも町民の利便性向上のため引き続き町民体育館の環境整備に取り組んでまいります。

隣の後関水源地の硬度

奥山直武議員

軽減化処理後の流末処理の対応は。

町長 処理施設内の沈殿池内の沈殿した石灰分の濁りがあふれ、白く濁った水が後蘭字の河川に放流され影響が出たものと考えており、和泊町の担当課長から、お詫び並びに対応策、監視強化に説明を受け、対策として、「年度内



▼ 現状視察の様子 ▲ 沈殿池の底の石灰泥

施設敷地に隣接する農地を購入し、沈砂池を造り、放流水を流すよう改善を図る」とのことです。

久志検字の農業用溜池の土上げ等の対応は。

町長 後蘭字からの河川水路についても石灰除去を含め年内に清掃を行う予定とのことで、久志検字の農業用溜池についても、管理する耕地課、和泊町担当課とも協議し、同時期の清掃実施に取り組みたいと考えております。

水道水の硬度低減化について。町長：財政状況を見ながら取り組んでいきたい。

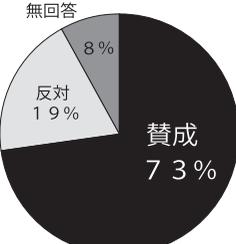


名間武忠議員

平成二十一年十一月に町が実施したアンケートで回答者の73%が硬度低減化事業に賛成とされていることにどのような判断をされますか。

町長 平成二十一年年度のアンケート調査の結果、図のような結果になりました。事業実施に賛成する理由としては、
・水道機器が長持ちする
・水が美味しくなる
・健康面の心配が少ない
などが主なものとされています。水道課としましては、アンケート調査の結果を町民の熱い要望、期待として考慮し早期に事業実施ができるように財政状況を見ながら取り組んでいきたい。

アンケート調査結果



※回答件数1,466件

長寿園の熱中症対策は。

町長：こまめな水分補給で対応。



長寿園の入居者の熱中症対策について。

町長⇨対策として、各居室によらず、すだれを備え、新たにテレビ室、静養室にクーラー二台を増設し、毎日の検温、こまめの水分補給での対応を行っています。

今年も大早魘があり、散水車だけでなく糖蜜タンクや液肥散布車で急場はしのげますが今後の具体的対策は。

町長⇨増産基金事業の継続と群島の実績にあった事業メニュー創設の要望をしております。

議員 今井宏毅

町長⇨畜産振興会・花卉振興会から要望が提出されましたら協議いたしたいと考えます。

他の農産物や花卉・畜産農家への早魘対策の要望があるが、今後の計画は。

上城のイジギョ川の水を早魘対策として活用できないか。

町長⇨地区の水利用組合や畑かん用水として土地改良区も利用しており、既存の関係団体や川下への水量の影響、水利権など調査の上で進める必要があります。

町全体で蚊・蠅の一斉駆除は出来ないのか。

町長⇨自然環境への弊害・住民・老人・子供たちへの健康被害も想定され、町全体の一斉駆除については課題があり実施しておりません。

猫の登録制の計画はないか。

町長⇨奄美本島では野生動物の保護目的で制定されましたが、知名町ではサトウキビに害を及ぼすネズミ・キジの繁殖等マイナス面もあり、可否も含め検討いたします。

農業用廃プラの再利用の方法の検討は出来ないか。

町長⇨ハウスの被覆ビニールの再利用としまして土壌消毒用のシートやマルチに活用する事が考えられます。葉タバコ、サトイモのマルチ



イジギョ川(上城)

子等に関しては痛みが激しく、再利用できる形状ではなくなっている。産業界廃棄物として処理するように指導しています。

近年猪被害は減少しているようであるが、撲滅に對しての対策は。

町長⇨今年度実施予定の、「鳥獣被害防止緊急捕獲等対策」を利用し、捕獲鳥獣への奨励金の上乗せを行う事により、狩猟者の捕獲意欲の高揚を図るとともに、狩猟従事者の確保に努めたいと思えます。



最新の物流システムの説明をうける。▼

▲コンピュータを使った自動せり機による「機械せり」の様子

大田花き市場視察

町長⇨再整備計画案を町民の皆様により納得していただけの内容とするためスケジュールを立て直した結果本年は「公共施設白書」の作成・次年度以降「町有建物全体の劣化状況調査」を実施、長寿園についても他の建物同様これを踏まえて判断したいと考えています。

「知名町公共施設整備検討委員会」の進展とその中で長寿園建て替え計画は。

Q

大津勘橋の改修について

老朽化した
大津勘橋 ▶

交通安全対策として、老朽化の著しい町道・知名正名海岸線の大津勘橋の改修は出来ないか。

平成25年3月議会定例議会
名間武忠



改善の必要性を認識

現在詳細点検を実施しており、専門家と協議を行い平成25年9月末をめどに修繕計画をたてる。

A



<p>橋梁長寿命化 修繕計画策定</p>	<p>大津勘橋をふくめた町道橋10橋を損傷度の高い順に修繕を実施。(平成26年度以降) 「安全通行の確保」「橋梁の延命化」をはかると共に維持管理費の縮減を行う。</p>
--------------------------	--

Q

国営事業による知名～徳時への事業計画は

知名～徳時地区においての基盤整備計画、畑地かんがい事業の計画はないのか。

平成24年12月議会定例議会
森山 進



関係機関と協議調整

「団体営農地開発事業」により区画整理された知名地区は、「平成26年度新規採択要望地区」として事業計画が成されている。「県営畑地帯総合整備事業(担い手支援型)」の瀬利覚地区の一部として採択されるよう、関係機関と協議調整を行う。

A



<p>平成27年度に知名地区(約15.3%)を事業計画予定</p>	<p>区画整理された知名地区の畑地かんがい事業は、「県営畑地帯総合整備事業(担い手支援型)」の瀬利覚地区に取り込んで整備をするようになったが、瀬利覚地区の同意状況により1年スライド。平成27年度に事業採択する予定。</p>
-----------------------------------	---

Q

通学路の安全について

利覚字向田の信号機のある横断歩道。周辺の歩道が一部狭くなっており、危険な状況で通学している。改善はできないか。

平成24年6月定例議会
西田治利



歩行者の安全が確保できる方法を検討

A



以前にも問題となったが、電柱や信号機など、用地の面で厳しい状況の為そのままになっている。その時点から時間が経過しているの、改めて協議したい。

こうなりました

現在可能な
対策を実施

将来的には用地問題を解決し、交差点の改良を行いたい。それまでは歩行者の安全を確保する為に、
①外側線の引き直し
②歩道乗り入れ部分の平坦性の確保等を実施していく。

Q

こども医療費の無料化は

こども医療費助成事業は、毎月の支払額から3,000円を控除した額となっている。全世帯において無料化をはかるべきでは。

平成24年9月定例議会
福井源乃介

前向きに検討

A



子育て世代の負担軽減につながるような方法を考えたい。国の動向を見ながら検討する。

こうなりました

控除額を3,000円から1,000円に変更し負担軽減をはかる

【病院で支払った額が3,500円/月の場合】
◆平成25年3月31日まで
3,000円以上の助成 → 500円の還付
◆平成25年4月1日から
1,000円以上の助成 → 2,500円の還付
※町民税非課税世帯は無料のまま。
保険適用外の診療には反映されません。



Q

各地域の支え合い体制は

暮らし安心・地域支え合い事業は今後どのように進めていくのか。

平成24年9月定例議会
奥山直武



A

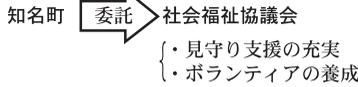
コーディネーターの設置・協力員の養成

- 社会福祉協議会と連携を図り、地域支え合い体制を作る。
- ◆ 高齢者や障がい者の状況、生活支援等のニーズの把握
- ◆ ボランティアの紹介や支援を実施
- 地域全体で支え合う地域社会づくりを目指す。

こうなりました

地域支え合い体制の仕組みづくりを構築

平成26年度までに、21字(あざ)の地域支え合い体制の仕組みを構築。生活支援を地域全体で支える。



議会の動き

<p>◆ 六月</p> <p>20日・第二回議会定例会閉会</p> <p>28日・沖永良部昇竜洞観光社通常総会</p> <p>◆ 七月</p> <p>3日・県体大島地区大会町結団式</p> <p>5日・議会全員協議会(共同組海運(株)説明会)</p> <p>町教育懇談会</p> <p>6日・沖永良部高校文化祭</p> <p>沖永良部糖業振興対策協議会</p> <p>さとうきび生産者大会(きび祭り)</p> <p>13日・県体大島地区大会(14日迄)</p> <p>14日・海人まつり</p> <p>17日・平成二十六年公立高等学校生徒募集定員策定等に係る地区説明会</p> <p>18日・町糖業振興会役員会</p> <p>19日・県体大島地区大会町解団式</p> <p>20日・地域資源文化交流会</p> <p>26日・町糖業振興会定期総会</p> <p>28日・奄美・やんばる広域圏交流推進協議会(奄美市)</p> <p>30日・奄振予算等中央要請活動(東京都)</p> <p>◆ 八月</p> <p>1日・沖永良部衛生管理組合臨時議会</p> <p>3日・昇竜洞安全祈願祭</p> <p>町ふるさと夏祭り(4日迄)</p>	<p>◆ 九月</p> <p>1日・町総合防災訓練(瀬利覚・黒貫)</p> <p>J Aあまみ知名事業本部園芸振興会総会</p> <p>J Aあまみ知名事業本部花弁振興会総会</p> <p>南栄糖業定時株主総会</p> <p>第三〇回国民文化祭知名町実行委員会</p> <p>さくら園敬老会</p> <p>8日・沖高体育祭</p> <p>10日・第2回町交通安全対策町民会議</p> <p>11日・国保運営協議会</p> <p>12日・長寿園敬老会</p> <p>13日・議会運営委員会</p> <p>17日・町合同金婚式</p> <p>18日・白百合大学敬老会</p> <p>第3回議会定例会開会</p>
---	---

請 願

陳 情

請願・陳情等は、所管の委員会に付託するか、又は付託を省略して本会議で採択もしくは不採択を決定しますが、この欄では、第三回定例会での処理状況を紹介します。



《継続審査とした陳情》

六月議会定例会以降の閉会中に受理された陳情等は、九月議会定例会の会期中に本会議、又は関係常任委員会の審議を経て、次のとおり決定しました。

《採択とした陳情》

○「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保のための意見書採択に関する陳情」（提出者〓新潟県村上市三之町一番1号 全国森林環境税創設促進議員連盟会長 板垣一徳）

○「少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2014年度政府予算に係る意見書採択に関する陳情」（提出者〓鹿児島県大島郡知名町下平川405-14 鹿児島県教職員組合奄美地区支部知名地区協議会議長 中川路守）

《継続審査とした陳情》

○「九州における震災瓦礫処理についての陳情」（提出者〓東京都杉並区下高井戸一丁目二一六パークアネックス二〇三菅原夏実）

○「オスプレイの沖縄配備を撤回させ、低空飛行訓練に反対する陳情」（提出者〓鹿児島県大島郡知名町屋子母一〇四一西善一）

○「協同労働の協同組合法（仮称）の速やかな制定を求める意見書に関する陳情」（提出者〓鹿児島市和田二丁目十五一 労働セクター事業団鹿児島谷山事業所下荒磯 業）

《可決された意見書》

○「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保のための意見書」

○「少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2014年度政府予算に係る意見書」

○「道州制導入に断固反対する意見書」

今議会で可決された議案

- ▼平成二十四年度知名町水道事業会計剰余金の処分
- ▼知名町税条例の一部改正
- ▼知名町国民健康保険税条例の一部改正
- ▼平成二十五年度一般会計補正予算（第三号）
- 千ばつ対策費など計上1億1388万円を増額。
- ▼平成二十五年度国民健康保険特別会計補正予算（一号）
- 償還金など計上1776万円増額。
- ▼平成二十五年度介護保険特別会計補正予算（一号）
- 償還金など計上1494万円増額。
- ▼平成二十五年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第一号）
- 一般管理費（健康診査委託料他）など計上112万円増額。
- ▼平成二十五年度下水道事業特別会計補正予算（第二号）
- 環境センター維持管理費など計上713万円増額。
- ▼平成二十五年度農業集落排水事業特別会計補正予算（第一号）
- 農業集落排水総務費など計上551万円増額。
- ▼平成二十五年度知名町土地改良事業換地清算特別会計補正予算（第一号）
- 過年度地区清算費計上502万円増額。
- ◆工事請負契約の締結
（知名中学校屋内運動場改築工事（本体工事））
- ◆知名町道路線の廃止（8路線）
- ◆知名町教育委員会委員の任命に付き同意を求める件（1件）
- ◆知名町人権擁護委員の推薦に付き意見を求める件（1件）



感想をお寄せ下さい

よりわかりやすく、親しみを持てる議会だよりの編集に努めています。議会だよりへのご意見・ご感想をお待ちしています。

議会報編集委員会

委員長 福井 源乃介
副委員長 山崎 賢治
委員 奥山 直武・松元 道芳
森山 進



後列左から 森山・松元
前列左から 奥山・福井(委員長)・山崎(副委員長)

こんなことも
しています

議員 かつどう



▲知名町青年連絡協議会との意見交換会。
会の活性化や、活動について、膝を交えて話し合われました。



▲給食センターで作られる給食の試食会。あたたかい食事に元気もらいました。



▲『ルールとマナー棄せて走ろう秋の道』
交通事故・交通違反のない安全な町へむけて交通安全市中パレード・街頭キャンペーンに参加しました。

編集 後記

スポーツの秋。

校、老連スポーツ大会、またサトウキビの夏植え等でお忙しい日々をお過ごしのことと存じます。
九月定例議会が十八日から二十五日まで開催され、六名の議員が一般質問に登壇し活発な質疑がなされました。近年、農業を取り巻く状況は非常に厳しいものがありますが、私達議会は「日本一豊かなまちづくり」に挑戦してまいりますので、更なる御指導をお願い申し上げます。

議会広報委員会
松元道芳